

令和4年度第8回「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」議事要旨

- ・日時：令和4年11月19日（土）14時00分～
- ・場所：森本市民センター 会議室
- ・対象：森本、花園、湖南、薬師谷、三谷
(校下、地区)

1 開会

【村山金沢市長】

皆さん、こんにちは。土曜日のお昼という時間帯に開催させていただきました。そんな中、大勢の方にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

このまちづくりミーティングですけれども、山野前市長のときも含めて、3年ぶりの開催ということになります。市長が代わりまして、これからの長期の計画が終わる段階にきております。今後10年間を見据えた計画を策定していくこととなりますけれども、その新たな都市像ということで10年後に向けての議論をしていきたいというように思っております。そのような中で、今回は従来とは違って3年ぶりということもありますし、私が就任して初めてということもあります。こうした形で複数の地区の町会の方々と一緒に集まっていたら、今年、この秋で全ての地区を9回に分けてまちづくりミーティングをさせていただこうというように思っております。

また、従来とはちょっと違うかもしれませんが、これからの都市像をつくるということで焦点を絞らせていただいて議論を深めさせていただきたいというように思っております。

今日は、各局から幹部が来ておりますけれども、対応し切れないご意見などもあるかもしれませんが、それにつきましては、また後日追って回答させていただくという形で、なるべく幅広く意見を伺いたいというように思っております。

この北部地区については様々な課題があるというふうに考えております。これは選挙で回ったときにいろいろなお意見をいただきました。ここ数年でかなり大変なところになっているというようにお話を伺っております。そのようなこともまた改めて伺いながら、これからの都市像に反映していきたいと考えておりますので、何とぞ忌憚のないご意見もい

ただければというように思っておりますので、よろしく願いいたします。

2 市長講和「親和力で奏でる金沢」

市長講和の内容については、レジュメを参考願います。

3 意見交換

【三谷地区町会連合会】

今ほどの人口減少について、金沢も人口減少になっているというお話がありましたが、実は三谷地区は金沢62地区ある中で最も高齢化が進み、人口減少が激しい地区でございます。小学校がありますが、現在、全校児童数が16名になりました。その一方で、農業従事者も担い手が非常に減少して、何人かが一生懸命やっておりますが、ある人は、ほかの農地も引き受けて、しかも大型の機械を導入してもうばりばりやっていたんですが、まだその方は60代です。その方が、もうとてもじゃない、農業は採算が合わなくてもうできない。もう来年からやめたというお話でございます。もう大きな機械も全部売り払った、こんなようなありさまですし、それに便乗するように、そのほかの方々も来年からもう農業はやめたという方も数人います。そんな関係で、山間地は空き家が増えると同時に、農地も今後ますます荒れ放題になってくる、そんな状況です。そんな中で、私はやはり山間地の人手が減少する中で、山手に定住していただける人を何とか呼び込みたいという思いでいますが、現在、山手に定住したくても農地も買えない、いわゆる農業者でないと農地を買うことができない。こんなもどかしい部分があります。

そんな中で、いろいろ他県の情報を探ってみると、長野県の飯島町ですか、そこでは山手の町なんですけど、移住者を呼び込むために移住者を条件に一定の農地を取得できるような、そんな制度を設ける。その制度は町で条例化もして取り組んでいると。しかも、その移住者については、支援金を打ちながらそういうような取組もしている。金沢市においても、地区によっては1反歩とか3反歩とか5反歩以上の農業者でないと農地求められないという、そういう下限面積が来年4月からなくなるということも聞いております。それを機会に、農業者でなくても、定住をしたいという方を対象に、ぜひそういう方にも農地を取得できるような制度の見直しをしていただきたいなというふうに思っています。

それと、この「チョイソコ」の関係ですが、三谷地区は、いろいろ利用されている方非

常に多いです。ただ、やはり地元の負担金がどれだけになるのか非常に危惧しております。取りまとめるに当たっても、やはり負担金が多いとなかなかまとまらないという問題もありますし、それから6地区が全体的にまとまるのかどうかという不安もあります。極力、この負担軽減のために行政としても特段のご尽力をお願いしたい。以上であります。

【村山金沢市長】

他の自治体の先行事例を、今、長野県の飯島町ですか、教わったこともありまして、ちょっと調べてみたいというように思います。移住者を招き入れたいというところに加え、三谷については地域おこし協力隊の方もいらっしゃったので、その先行事例というか、外からの人間がいきなり入るとそこでいろいろやりづらいところもあるように思う中で、先行的に入っている地域おこし協力隊の方って、その意味では非常にもともとの住民の方とのパイプもできているのでいい役割を果たしていただけたらと思うんですね。その方にも協力いただくことができるような地盤がもうできているというように思います。その移住の関係と、あと農地の関係と両方が関係してくるところでありますので、ちょっと勉強させていただきたいというように思います。

【新保都市政策局長】

ご意見ありがとうございます。交通の所管をしております都市政策局の新保と申します。私のほうから、今ほどの「チョイソコ」の関係についてお答えをさせていただきます。「チョイソコ」は、7月1日から各地区の皆さん方にお使いいただいております。特に三谷地区の皆さん方は登録者数も多いですし、ご利用の方が一番多い地区というふうに認識をしております。今、多分、三谷地区の方々でご利用されている方は、このままずっと「チョイソコ」は使いたいという方は多いと思っております。

その中で、今ほどの地域の負担にご懸念があるということで、それについては我々も承知をしておるところでございまして、これは予算の関係とか制度の関係がございまして、今ここではっきりは申し上げられないんですけど、できるだけ地域の負担がないような形でどうやったらできるかということ制度設計しているところで、それを第3次の戦略の中でもある程度書き込めないかというふうなことを検討しておるところでございまして。先ほど市長の講演にもあったとおりでございますので、我々としても努力をしたいというふうに思っております。

【三谷地区町会連合会】

先ほどの話と関連することになりますけれども、今、三谷はある新聞で限界集落、限界集落ということで一面をにぎわせたことが何度もあります。自分たちの知らないうちに人が減っている。気がついたら65歳以上が半分以上だと。年金生活者ばかりだと、そういう状態の地域になってしまったんですが。私は、最初はショックでしたけれども、待てよと。これは最先端を行ってるんじゃないかと。これからの人口減少の社会の中で最先端だと、見方を変えれば。じゃ、どうやってこれを乗り切れるか、着地できるかな。これから一番難儀なことになるのかなと思っています。今、どんどん人がいなくなる。宮野保育所もなくなる見込みのようですが、今ほど話にありました小学校もなくなる。住民基本台帳の町別の人口・世帯数ところにも、それぞれの町の人が減ったら、他の町に含まれて書かれてしまう。次に起こるのは神社と寺院の統廃合です。最後はもうそこまで行くなというふうに思っております。

そんな中で、実は私たちの生きていたときは、ふるさとと言えば自分たちの小さいときに遊んだ山や川や畑や、そういうところなんです。じゃ、今の子どもたちにとってふるさとって何だといったら、保育所の子どもたちってその住む場所で生活体験するところだけなんです。そういう意味で、子どもたちにふるさとのことを、大きく言えば金沢ですが、小さく言えば自分たちの生活しているこのふるさとの思い出、ふるさとづくりをするのは何だといったら、一番大事なのが保育所じゃないかなと。もうそこからスタートという。

私の孫が宮野保育所から薬師谷保育所に変りました。娘夫婦は、そこのテクノパークで働いてたもんで、通勤の途中でというので薬師谷にした。これからの住居どうするかというと、友達づくりのことを考えると、保育所の友達と一緒に不動寺小学校行かせるしかないとなると、不動寺に住むというので不動寺校下のほうで家を買っちゃいました。そういうことを考えると、子どもたちの簡単な統廃合だけ、効率的な統廃合だけじゃなくて、その子どもたちがふるさを思わせるような、体に覚えてもらうような、そういう発想で言うと、効率だけでは駄目なんじゃないかというのが私の一つの思いがあります。

先ほどからの市長さんの説明の中でずっと資料を見ていまして気がついたのが、ここ森本というのはかつてから農村地区です。金沢市内は大きく分けて、昔の言葉で言うと「町方」と「村方」というんですが、先ほど旧市街の話ばかりが物すごく多く感じました。村方といって金沢を取り巻く森本から、医王山から、内川から、四十万のほうも、そういう

ところの話があんまり出ないんだなと。仕方がないなと思って聞いていたんですけども。話を聞いてる中で、かつて20年ぐらい前ですけど、東京の人に言われたのが、金沢って1泊泊まりで終わりだね。1泊見れば、1日あれば金沢見れるよ。これ、2泊3泊させるようにするにはどうすればいいと思うと、そんな言われ方しました。先ほどこれまでの市長さんも一生懸命文化の広がりとかいろいろ言ったけど、旧市街の話ばかりじゃなかったか。その周りにもいろんな文化がある。それがどれだけ世の中に出してきたか、それがちょっとなかったんじゃないかなと。自分でも答えはないんですが、先ほどの松根城の話もありました。あれは地元の人たちが受け継いだものを何とか残そうということをやっているんですが、そういうものを我々が森本のことをもっと子どもたちにも語れる、外にも向かって語れるようなものをどうやってつくっていくかのかなというのが私の立場というか思いなんですけれども。そのときに文化で言えば、城下町の話ばかりですが、この辺というのは一向宗なんです。地域的に言うところには三谷法華と言われる全国的にも珍しい法華谷のほうなので、何かそういうことも取り上げられたら変わったものができるんじゃないかなと思っています。視点的なことばかりで具体的なことないんですが、ここの地域に、森本地区を語れるものを何かつくっていくかなければいけないなと。もう限界集落、65歳以上なんで人いないので、これはもう何かやろうとしたら三谷から出ていった人たち、それから三谷に興味、関心を持っている人たちに何か協力してもらおう。外からの人に入ってきてもらうしかない。地元だけでは駄目だというふうに感じております。大きな話ばかりして、すいません。でも、一つは、今の具体的なことで言うと保育所づくりというのはこんな効率だけじゃないんですよというもう少しちょっと別の視点で考えてほしいな。あるいは活動の中かもしれませんが、そういうふうに思います。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。幾つかの視点があったというように思っています。この選挙の期間中に私はかなり隅々と言っては、行ってない集落があると申し訳ないんですけども、いろいろ回らせていただきました。かなりちょっとこれからどうしたらいいかということをお悩むような地域も多かったです。

これはこうやって、やっていきましょうということは言っていけるんですけども、具体的な方針なく語ってしまうと、それは本当に嘘をつくというか、申し訳ないことになってしまうので、私がここで言えるのは、やれることしか言えないのです。そういった中で、

課題は重々認識したところなんです。

私、香川大学の先生を3年間やっていたときに、学生を連れていろんな商店街にも行きましたけれども、離島なども行かせてもらって、その離島の発展の仕方なども見て、学生に学んでもらって、学生が自分たちでどういうことをしたらいいかを考えるというのをそこまでは結構授業でやるんですけど、その後にそれを実際にやってみてどう住民の方に効果があるかというところまで動かしていったことがあります。

香川県高松市の男木島という、今、瀬戸内国際芸術展でにぎわっている島ではあるんですけども、そこが今、小中学校なんですけれども、一緒になっていたところが休校になってしまったけれども、そこから移住者が来て、今、小中学校で合わせて十何人かいるようになりました。全部卒業した後なんですけれども。それで、急遽、耐震化もできなかったので建て替えをしまして、その中に保育園を造って、今、待機児童がいるというような状況の島なんです。全体で180人の島。180人の人口は変わらなくて、移住者は来るけれども、お年寄りが亡くなるというような状況で、平均年齢がどんどん若返っているような島ではあるんですけども、そんな島の事例などもあります。

これがよかったのは、やはり大学が連携して入ってきたことと、それから移住者がその仲間を連れてきて新しいネットワークをつくってきたということ。それからもう一つは、芸術の力で瀬戸内国際芸術祭というところになったということもあります。

そのようないい事例はある。その原動力となる大学などをどう絡めていくかということ、大学と地域とのつながりというところにあるんですけども。いずれにしても、抜本的に何かやらなきゃいけないという気持ちを持って、これまでの経験もちょっと生かしたいと思っていますし、今おっしゃられた三谷をふるさとと感じる人のネットワークというのは、ひょっとしたらこれからひとつの原動力になるかとも思っているの、その辺りもご意見をいただきながら進めていきたいなと思っています。

村方のほうについては、もっと小さい集落とか今回回ってきていろいろ感じるころはありましたので、そこへの対応をしなければいけないというふうに痛切に感じているころです。どうしてもこれまでの政策とのつながりの話にはなっていますので、そこが弱かったところは率直に認めて対応をしていきたいと思っています。

【花園地区町会連合会】

私、花園の一番北の町の利屋町というところに住んでいまして、生まれ育って、今も住

んでおります。花園小学校のPTA会長を何年間かやった後に、今現在は森本中学校のPTA会長をしております。花園の町会連合会長からお声かけいただいたので、今日来ておりますので、ご理解をお願いします。2つご質問ございます。2つとも地域の活性化に関わることで、私、保護者と集まることが多くあるんですけども、先日、病気で近所の大事な同級生が亡くなりました。それでちょっと集まる機会があったんです。花園小学校出身の同級生ばかりなんですけれども、ほぼ花園には住んでおりません。これは何でかっていうことです。でも、私を含めて、昔の話、楽しそうに話ししながら、花園小学校管内のことにはやっぱり思いがあります。これが継承されていくには、花園には活気が必要になります。

1つは、定住についてです。今ほどずっとあった話と一緒になんですが、定住してもらうことで伝統は継承されていく。これを子ども、孫に伝えるには、当花園地区にも定住人口を増やす必要があります。そういう現状があるので、この定住についての工夫や施策について一つ。

それから2つ目は、同じく地域の活性化についてなんですが、本日、海側環状線開通しまして、アクセスの話がよくニュースで言われているかと思うんですが、北陸道や東海北陸道、そして能登へのアクセスを考えると環状線がすごくよくなったかと思うんですけども。我々の近くにある農業公園についてです。もう30年近く前になると思いますけれども、この場所が約30ヘクタール近くだと思うんですが、30町歩というとすごく大きいと思っています。毎日通っておるんですけども、30町歩近くが放置された状態になっているかと思っています。私らの年代から見ても、アクセスがよくなったというふうに認識している中で、何か子どもの活性化につながるような、そういったまちづくりの一環として施策が検討されている。その中で、連合町会や期成同盟会からの要望もあったかと思っています。それを踏まえての見解をこの場でお聞きしたいなと思います。

【村山金沢市長】

定住についての工夫ということ。金沢への定住ということと地区への定住ということの意味はまた違うので、そこについて地区の魅力をどう高めていくかということが一つだと思いますし、もう一つは、アクセスなどについてもそうなんですけれども、地区でのこんな形でやっていきたいというようなご要望があれば、また相談いただきたいというように思います。様々にそれぞれ、その地区ごとの課題だというように思うんですね。具体

的に花園地区でどのような魅力があると感じるかということの分析をまずしなければいけないことと、それからそれは恐らくPTAの方々であったりするとそこが見えてくるのかなとも思うんですけども。

【花園地区町会連合会】

大先輩方のご意見あったもので便乗させていただいて。僕らの保護者レベルで言うと、家建てれるところに田んぼがない、土地がない。それから、田んぼを持ってても分家住宅や既存宅地のように条件が満たされる人が私の友達にはいない。こういったこともありますし、衣食住に関わる全ての出来事が周りではできない。そういった利便性の面からも、別のいろんなところのほうがよいというような意見がどうしてもあるんですけども、できれば花園の良さをこの子どもにもというようにも思っているんで、先ほどの2つ目の質問と同じですけども、農業公園を活性化させた上で、先ほども出ましたが、そういった定住につながるような条件緩和とういうところも絡めていければ、すごくまた良い地域になるのかなと思ってまして。

【松田市民局長】

1つ目の話なんですけど、あまり小さい地区を魅力あると言ってもなかなか地元にいることのある人は分かるんですけど、そのほかの人たちも巻き込むときっていうのは相当な労力が必要になると思います。市民局では市民協働推進課というところを所管してるので、例えば、地域がチャレンジするような事業を幾つかやってみてはいかがでしょうか。予算のあることですので来年以降になるかもしれませんが、失敗すれば失敗したで、また課題を解決するようなことを考えていくということで、やっぱりトライ・アンド・エラーというか。せっかく意見を言っていたんで、相談があればどんどん来ていただければいいかなというふうに思いますので、せっかく森本中学校の会長もやってるし、そういうことも含めて、もっとディスカッションしていけないかなというふうに思います。

能登の方で言うと、祭りが基軸になってすごく人が集まる。それは一つ。だけど、それが成功しているわけではなくて、そのときしか人は集まらないんです。だから、定住といふとなかなかそういう形で、何かテレビだけ見ると成功しているように見えるけど、なかなかうまくいってないときもある。輪島の千枚田にある道の駅でも、すごく人が集まっているように見えます。私の親の実家があそこの隣の集落なんですけど、平均年齢85歳とか

90歳とか、もう考えられないような形になって、あの集落だけが一時的に盛り上がったたりしてるという、そういう状況もあるんです。

だから、深掘りして行って、うまくいく体験がどういう形かというのを企画とかして実行していく。そのときにお手伝いできるような所管があればどんどん手伝いしていけばいいかなというので、連長さん達の力も借りながらどんどんやっていけばいいかなと思います。

【村山金沢市長】

2番目の話については、県にずっと要望してきております。農業公園がずっとあのままなんで、我々もそれでいいとは思っていないので、一緒に声を上げさせてもらいたいというように思います。

【三谷地区町会連合会】

一つは、地域おこし協力隊、今新たに募集がかかっているというような形の中で、地域で受け入れをする際に、空き家等を活用するという話が出てくるんですけど、空き家の利用というのは簡単ではない。住んでた方が出られて時間がたって、住居としての機能がもう保てなくて、かなりの改修をしないとイケないと。そういうようなことがあつたりします。地域おこし協力隊の事業もそのお金の中だけで入ってもらっているのは非常に難しい部分があるので、そういったところを何らかの機関の融資でやるとか、そういったような支援ができないか。先に三谷に入っていたいただいた地域おこし協力隊の住まわれているところの住居も、たまたまその先に金沢大学のインターンシップで東原に来てた学生を入れるために、私も幾らかの金を事前に活用して改修をして、家賃の中で時間をかけて改修したというような経緯があつたりします。まちなかで住まわれる方はそういった補助だとか、そういったことがあつたと思いますけど、中山間地域にはなかったというようなこともありますし、そういったことをお願いしたいなど。特に今回は林業に関わる方の地域おこし協力隊だということで、今の大雨での災害とか、あとは環境問題のCO₂の問題とかということで、林業というのは非常にこれからも重要になってくると思いますので、そういったことも含めていろいろやっていただきたいなと思います。

東原は、先ほどから定住人口という話が出てますけど、もう定住というのは難しいだろうと。あくまでも交流人口を増やして地域を活性化という方向というか、そういった話題

が出ています。そういった形の中で地域おこし協力隊の方にもう一度、新たな方にまた三谷に入ってもらって林業をやってもらえると非常に地域、また別の動きができるんじゃないかなと思っています。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。ちょっと課題が多いのかなと思っております。それを地域おこし協力隊だけに認めていくのか、あるいは移住者のような方にも広げていくのかということもあると思いますし、いずれにしてもそれは融資を行うことができ、それが利子を低利で行ってできるとすれば、解決できる課題というのは空き家問題もそうだし、中山間地域での定住ということもそうだし、複数あるというように思います。そういったところに向けて何かできるかということところはちょっと検討しなきゃいけないとは思いますが、課題であることはまず認識をさせていただきました。今のところ使える制度はなさそうですが、いい提言をいただきましたので今後に生かしていきたいと思っています。

【花園地区町会連合会】

今ほど出ました農業公園の開発同盟会の事務局長をいたしております。30年間、あの広大な土地が塩漬けでございます。いろんな事情があったと思いますが、まず1つ目は我々地元の力不足であります。これは間違いございません。2つ目としては、前知事さんも、前市長さんもなかなかこの問題に関しては取り上げていただけなかった。私たちもこの同盟会として、いろいろと陳情してまいりましたが、ある人なんかは、わしがしたんじゃないから、前の知事がしたんだから俺は知らんと、こんな言い方で返されましたし、かつては県と市はその問題には一切連携はしなかったということも聞いております。幸いにといいますか、知事さんも市長さんも代わられましたので、馳知事さんと連携しながら、ぜひこの農業公園の開発をお願いしたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。30年間動かなかったということなので、元の予定がどうだということ以上には何とかしたいということが一番の思いだというように受け止めています。

馳さんも北部にゆかりの深い方でありまして、当地のご事情はお分かりだというふうに思います。行政として一回やると言っていたものであれば、それは誰がやるにしても行政

の継続性というのは求められるわけで、一番負担になっているのはご地元ということになりますので、これは知事のほうには話を持っていかせていただきます。

ただ、何のアイデアもなくやるよとも言えないと思うので、またこの土地、どんな形でやってほしいかということもご地元のほうであるかもしれません。そういったところの話も30年たって改めてということであるとすれば、そういったご提案もいただければというように思います。もちろん、難しいものは難しいんですが、その方向性を踏まえることができるかどうかということも含めて検討させていただきたいというように思います。

4 市長まとめ

【村山金沢市長】

本日はありがとうございました。先ほど申し上げましたけれども、選挙期間もこの北部の地域を回らせていただいて、いろいろ課題も多いなというように思っておりました。

例えば市民サッカー場の話をしてもそれはあちらの話だろうということで、北部と一緒に考えていること自体がどうなのかなということも思ったりします。非常に面積の大きい地域であります。また課題も大きいというように承知をしていて、その対策をしなければいけないなということを痛感しているんで、ぜひまたこれからもご意見いただいた上で、よりよい地域にし、そして将来の姿が見えるように考えていきたいというように思っております。よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。